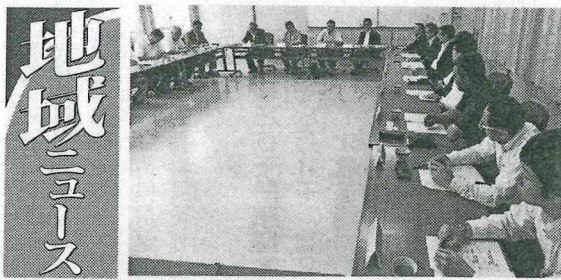


松山工業高校

人材育成で産官学連携

県建協などと意見交換

愛媛県立松山工業高校（内藤善文校長）は22日、2017年度地域産業スペシャリスト育成推進会議を同校で開いた（写真）。この会議はインターシップ、匠の技教室



地域ニュース

企業見学などの実施状況を確認、産官学の立場から意見を交換し17年度事業に生かそうというもの。参加者は団体・企業から県空調衛生設備業協会、県測量設計業協会、県建設業協会、愛媛基礎工事業協同組合、松山電気工事協同組合、三浦工業など。官庁から松山市産業経済部、同校から内藤校長、神山教頭、各校長らが参加した。

内藤校長は「産官学が連携して地域のものづくりを支える人材を育てたい。学校の現場で何ができるか、皆さんから意見をいただきたい」とあいさつ。同校によると、卒

業予定者のうち就職希望者は6割で、このうち県内企業への就職希望者は5割超。会議では団体・企業から「将来は地元で就職し地域を支える人材になってほしい」「就業体験などを機会に建設業に対する理解を深めてほしい」「現場見学会などでこれまで以上に活発な質疑応答ができたらうれしい」などの意見があった。